

第28回全国ホタル研究大会の概要

大会テーマ：『ホタル復活はふるさとの心意気』一人が傷めたのだから人が蘇らせるべきです

全国ホタル研究会第28回大会が1995年6月23～25日に、環境庁、愛知県教育委員会、小牧市教育委員会、日本ホタルの会の後援、大山川の自然に親しむ会、愛知ホタルの会の共催により、愛知県小牧市で開催されました。全国各地からの参加者152名、生徒さんや地元準備メンバーを含め総計180余名が参加しました。また、今大会には、愛知ホタルの会が中心となって初めて「ホタル生態写真展」が大会会場に併設され大盛況でした。

記

会場 愛知県小牧市 名鉄小牧ホテル

6月23日（金）

10：00～12：00 役員会

13：00～ 受付

14：00～17：00 見学会

小牧山，小牧歴史館，田県神社，ホタルの里

20：00～21：30 座談会

6月24日（土）

9：30～10：00 故村上美佐男氏および故羽根田弥太氏を偲んでの報告
黙祷
開会式

10：00～16：00 研究発表

ホタル銀河を夢みて

平原ゲンジボタルの里保存会・西尾市立東部中学校科学部

ホタルの餌カワニナの飼育に取り組んで

小牧市立小木小学校 飼育委員会

河川でのカワニナ籠飼育の装置改良の試み	松浦晴道・倉知利之
カワニナの室内飼育・稚貝収集装置の開発	中村光男
21年間続けた名古屋城外堀のヒメボタルの研究と保護活動	大場信義・竹内重信
ゲンジボタルの上陸状況についての一考察・山梨県下部一色川にて	内藤喜照・大竹和男
紙芝居を使ったインタープリテーション	横浜ほたるの会
守山市におけるホタルの盛衰	遊磨正秀・守山ほたる研究会
指定地の現状に就いて	浅田義邦
水槽飼育における幼虫成育調査	藤井勝利
ホタルの複眼表面の構造	鈴木浩文・稲見道治・山崎柄根・大場信義

16:00～17:00 第28回総会

18:00～20:00 懇親会

6月24日（日）

9:00～14:00 明治村見学（希望者のみ24名）

大会を振り返って

*石田 弘幸（愛知県小牧市）

私たちが全国大会の開催地の立候補表明をしたのが平成4（1992）年、それから二年余、大した準備らしい事も、もてなしも出来ないまま、あっというまに終わってしまったというのが実感です。しかし、全国各地から大勢の会員の皆様が、はるばる小牧まで来ていただいたこと、そしてその熱心な姿と親密な友情に育まれた大会であったことに心から感謝申し上げる次第です。

さて、私たちは今回の全国大会を招致できる機会にあたって発言できる場を与えられました。それは大会テーマの提唱のことで、「人が傷めたのだから人が蘇らせるべき」との信念のもと、「ホタル復活」と提唱したのは、全国ホタル研究会の活動の歴史が「生態研究」という柱と並んで「保護」も大きな柱であったし、今後も未だ課題として在り続けるであろうと考えたからです。幸いにして賛同を得られ採択されました。ホタル復活をふるさとの誇りとして時間も金も労力も傾注しておられる数多くのホタル愛好

家の方々同士の励ましの合言葉になり得るテーマであったと自負した次第です。更にこの大会をきっかけとして、私たちは私たちなりに二つの大きな収穫を得たと思っています。一つは、この小牧大会を盛り上げようとの県内同士の気持ちと力が初めて県組織「愛知ホタルの会」の結成につながったことであり、そして初めて「ホタル生態写真展」を大会会場で併催できたことであります。もう一つは、私たちの会のイメージソング「ふるさとの川を」のミュージックテープ刊行であります。この歌が全国で歌われ、自然への想いが広められていくことを願っている次第です。

*大山川の自然に親しむ会会長

写真展の御礼

*古田 忠久（愛知県岡崎市）

長年の希望であった「写真展」を小牧大会を期に開催できたことを、全国の会員の皆様に厚くお礼申し上げます。

一枚の写真でも、時期や天候など多くのチャンスに恵まれないと手にすることは不可能です。無理を承知でお願いしましたが、おかげで多数の会員の方が賛同され、展示会場を盛り上げて頂き、成功裏に終了できました。

大会誌や情報交換誌には貴重な研究や資料が掲載され、本会の大きな財産だと思っておりますが、写真で残す面がやや不足ではないかと考えており、30回大会あたりをめどに、各県の発生河川、成虫の飛翔など記録に残したらと思います。

*愛知県ホタルの会会長

